

(添付資料 — 1)

平成 27 年 5 月吉日

シドニー外語会の皆様へ

東京外語会理事長
長谷川康司

シドニー外語会の皆様に於かれましては益々お元気の事と存じます。

さて、この度東京外語会有志による海外支部歴訪の旅で、シドニーを訪問し、貴会との交歓会を開催される機会に、皆様へのメッセージを託してご挨拶申し上げます。

シドニー外語会は 1982 年 12 月に創立され 30 年以上の歴史と伝統があり、現在会長の中尾さん、幹事の河原さんのお世話役を中心に総員 26 名で懇親を深め多方面にわたってご活躍されておられる事は理事長として嬉しく誇りに思います。シドニー外語会の特徴は、三外国語大学OB（東京、旧大阪、神戸）が一体となって運営されている点にあり、東京外語会の海外支部の中でも特色のある存在として我々も関心を寄せております。

私は会報 133 号（2 月発行）で国内外の支部活動の重要性を述べました。つまり支部間のネットワークを強化し会員の皆様に『役に立つ面倒見の良い、外語会』を目指す事を目標の一つに挙げています。

ご承知のように、東京外語会理事会の中には「支部委員会」が設置されており、海外各支部との連携に力を注いでおります。

支部の設立・運営にはそれぞれの背景が有ると思いますが、本部も支部との連携を深めて協力・支援を实践致します。それぞれに接点が増えればやがて面となり、お互いが理解し発展が期待できます。

文科省、一部の大学は若者の留学を推進しており、母校に於いても学生、保護者、大学は留学に積極的に取り組んでおり、その視点からも海外支部の活動に関心が高まっています。

昨年の 6 月に、母校を含む 7 つの外国語大学が一丸となって、世界に貢献し得る人材の育成を目指す「全国外大連合」が結成されました。その活動が活発になり、大学間の交流が盛んになれば、東京外語会も将来はシドニー外語会の様に他の外国語大学

OB会と協調して運営する支部が増えてくると思います。又日本に留学に来ている留学生も帰国したら支部に支部員として入会したい声も出ています。現に留学経験者が帰国し支部の中心になっている所もあります。まさに外国語大学ならではのグローバル化した支部となり、OB会、大学、学生にとっても有益な交流、情報ステーションとなり今後グローバル化のシナジー効果が期待されます。

従来、国公立大学は卒業生との関係にさほど関心を示していませんでしたが（一部私大を除いて）、最近の新聞紙上では、卒業生のキャリアは大学にとって大切な資源であると認識し、OB会との連携が重要であるとの報道が目立ちます。昨年 9 月文科省がスーパー・グローバル・ユニバーシティ（SGU）37 校の国公立大を選定し（東京外国語大学も選定された）大学の国際競争力を高めるため一定期間国から大学へ財政支援されますが、期間毎に評価されます。評定結果が重要となりますので選ばれた大学は競って国際化を推進しています。東京外語大の場合はこの 4 月から四学期制を導入し、学生に留学し易い環境を整え、在学中に 2 回留学するよう指導し学生を教育・育成しています。以前より海外からも公費・私費の留学生を受け入れ、また、協定している外国の大学と Global Japan Office「日本研究・日本語教育の拠点となる」オフィスを現在 5 か所開設しグローバル化を展開しています。今後 10 年間で 38 office を開設する計画です。その際は現地で活躍しておられる皆様からのサポートが重要になってくると思いますので宜しくお願い致します。

当会を含め国立大学OB会の多くは財政的に余裕の無い状況と思いますが、在学や卒業生の若い世代、又シニア会員にも思いを致し『面倒見の良い外語会＝OB会』を目指すべく努力致します。日本からの留学生、若き駐在員は海外の先輩から色々なお話を聞かせて頂ければ、彼らの将来に必ずやプラスになることは言うまでもありません。

最後になりましたが、シドニー外語会の皆様方のご健勝と益々のご発展を祈念し、簡単ながらご挨拶とさせていただきます。日本に帰国の際は是非とも本郷、或いは当会の府中事務所“外語会プラザ”をご訪問下さい。

以上

(添付資料 ー 2)

2015年5月15日

シドニー外語会
会長 中尾尚子様・皆様

東京外国語大学
学長 立石博高

ご挨拶

「第16回東京外語会有志による海外支部歴訪の旅」一行がこの度御会と交歓会を開催されると伺い東京外国語大学の学長として一言ご挨拶申し上げます。

私は東京外大のスペイン語科を1976年(昭和51年)に卒業いたしました。そして2013年4月に学長に就任し2年余り経過したところです。学長就任後間もない2013年(平成25年)9月に行われた「第15回トルコ支部訪問」の際にも、学長として支部の皆様へ母校の様子を伝えるメッセージを訪問団に託しましたので、今回もシドニーでご活躍の皆様方に母校の現状を3点ほどに絞ってお伝えしたいと思います。

先ず第1点ですが、シドニー外語会は大阪、神戸、そして東京の3外大の同窓生で構成されていると聞いております。東京外語会の海外支部は現在50余りあると伺っており、その中で大阪外大の咲耶会の皆様とは数カ所の支部で合同で運営されていることは承知していますが、御会が神戸外大を含めた3外大の同窓で運営されておられることは初めて知りました。素晴らしいことと思います。

皆様すでにご承知かも知れませんが本学は2014年6月に「全国外大連合」を結成いたしました。全国7つの外国語大学が加盟しています。五十音順に申しますと、関西外国語大、神田外語大、京都外国語大、神戸市外国語大、東京外国語大、長崎外国語大、名古屋外国語大の7外国語大学です。その基本理念は「世界諸地域の言語と文化・社会に関する専門学術を教授研究し、国際社会の一員として世界に貢献しうる人材を育成すること」にあります。今後7大学はこの基本理念の下で別途設けた目標の実現のために「学生、教員・職員及び研究者の交流」を図り、「各大学の教育研

究の水準を一層向上させる」べく連携して参ります。

次に第2点です。本学は昨年文部科学省から「スーパーグローバル大学創生支援」事業校に選定され、タイプBの日本の国際的競争力向上に貢献する「グローバル化牽引型」24校の一つになることができました。本学の構想は、「《世界から日本へ、日本から世界へ》——人と知の循環を支えるネットワーク中核大学——」としており、具体的な活動の一つに世界各地の協定大学に Global Japan Office を設置し日本の発信力、国際的プレゼンスの向上に寄与することを目的としています。この海外の Global Japan Office の活動を展開するに当たっては、世界各地で活躍する本学のOB・OGの方々のご支援とご協力が不可欠です。具体的なことは順次「東京外語会会報」などでお伝えしますのでどうぞよろしく願いいたします。ちなみに御地オーストラリア関係では未だ残念ながら Global Japan Office を設置するまでには至っておりません。目下は下記の2大学とそれぞれ学生交流協定を締結している段階ですが今後出来るだけ早い機会に上記 Office を設置したいと希望しております。

①オーストラリア国立大学

(2001年4月27日)

②メルボルン大学

(2012年1月13日)

そして第3点です。本学は今から8年後の2023年に建学150周年を迎えます。東京外国語学校が設置された1873年(明治6年)を建学の年としています。これを記念して更なる発展を期する為10年間で10億円を目標とする「建学150周年記念基金」を設けております。御地の皆様におかれましても本趣旨にご理解を賜りご協力の程どうぞよろしくお願い申し上げます。

最後に一つ私の方からお願いがあります。本日の交歓会のことを含めてシドニー外語会の活躍の様子や、支部から後輩の学生諸君に向けた期待等(在学中にこんな勉強をしておくと良い等のアドバイス等)を是非本学学生諸君に伝えたいので学長室宛てに寄稿して頂きたいと希望しております。

以上を持ちまして簡単ではありますが私のご挨拶とさせていただきます。交歓会のご盛会をお祈りすると共に皆様のご活躍を念じます。 以上